



〈ニュースリリース〉

2015年12月15日

報道関係者各位

CYBERDYNE 株式会社
代表取締役社長 山海嘉之

生活支援ロボットの日本工業規格(JIS)の制定を部会が承認

－ 国際安全規格に続き、国内規格の策定を主導 －

CYBERDYNE 株式会社（茨城県つくば市学園南 2-2-1）は、生活支援ロボットの国際安全規格 ISO 13482:2014（※1）の策定に続き、2013年7月より、より具体的かつ実効的な国内規格の策定に主導的に取り組んで参りました。その成果である「JIS B 8446」シリーズの規格案について、2015年12月10日に日本工業標準調査会 標準第一部会 第5回産業機械技術専門委員会で審議され、その制定が承認されました（※2）。今後、パブリックコメントが募集された後、JIS（日本工業規格）として制定されることとなります。

今回制定が承認された「JIS B 8446」シリーズは、下記の3部から構成され、当社はこれらすべての素案作成に関わり、さらに、第1部及び第2部の原案作成委員会に委員として参加いたしました。

- ・ JIS B 8446-1 生活支援ロボットの安全要求事項-第1部：マニピュレータを備えない静的安定移動作業型ロボット
- ・ JIS B 8446-2 生活支援ロボットの安全要求事項-第2部：低出力装着型身体アシストロボット
- ・ JIS B 8446-3 生活支援ロボットの安全要求事項-第3部：倒立振子制御式搭乗型ロボット

当社は2004年に筑波大学発ベンチャーとして設立されて以来、安全を再優先に、革新的な技術を駆使したロボットスーツ HAL®の開発とその社会実装に取り組んでおり、そのノウハウを活かして、2010年より NEDO 生活支援ロボット実用化プロジェクト（※3）の支援を受け、ISO 13482 を策定する ISO のワーキンググループ（ISO/TC 184/SC 2/WG7）に参加するとともに、2013年2月に HAL 福祉用（下肢タイプ）の ISO/DIS 13482 認証を取得、2014年11月に HAL 作業支援用（腰タイプ）及び HAL 介護支援用（腰タイプ）の ISO 13482 認証を取得するなど、安全標準の策定と普及について主導的に取り組んで参りました。これらの活動で得られた知見を基に、特に「JIS B 8446-2（低出力装着型身体アシストロボット）」の原案作成を主導し、今回の制定の承認に至りました。

当社は今後、「JIS B 8446」シリーズの普及及び国際標準化に積極的に貢献し、安全・安心な生活支援ロボットのグローバルな市場開拓に貢献いたします。



(※1) ISO 13482:2014 について

ISO 13482:2014, “Robots and robotic devices – Safety requirements for personal care robots” は、2014 年に国際標準化機構 (ISO) から正式発行された生活支援ロボット (personal care robot) の安全性に関する唯一の国際規格です。当社は ISO 13482 の標準化提案活動に参加しています。

(※2) 承認について

日本工業標準調査会のホームページ <https://www.jisc.go.jp/jisc/index.html> より、「会議配布資料」→「産業機械技術専門委員会」→「H27.12.10 第5回 議事要旨の6」に承認された旨の記載があります。

(※3) NEDO 生活支援ロボット実用化プロジェクトについて

国立研究開発法人 (当時、独立行政法人) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の委託事業として、2009 年度から 2013 年度に実施された、生活支援ロボットの安全技術の開発と安全性検証手法の開発を行うプロジェクトです。当社は、当該プロジェクトの研究開発項目「安全技術を導入した人間装着 (密着) 型生活支援ロボットの開発」を受託し、その成果をロボットスーツ HAL®に導入するとともに、標準化活動に活かしています。

会社概要:

社 名 CYBERDYNE 株式会社 (サイバーダイン)
住 所 茨城県つくば市学園南 2 丁目 2 番地 1
資本金等 165 億 11 百万円
設 立 2004 年 6 月 24 日
事業内容 ロボットスーツの開発・製造・販売
証券コード 7779

お問い合わせ先

CYBERDYNE 株式会社
<http://www.cyberdyne.jp>
TEL (029) 869-9981 (広報・IR)
Mail media@cyberdyne.jp
担当 宇賀、田中